

2年1組 道徳科学習指導案

1 主題構成表

主題名 きまりを、まもる力

資料名 くろぶたの しっぱい

■内容項目C 規則の尊重

約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。

■ 価値の分析

- ・児童が成長することは、同時に所属する集団や社会を構成する一員として集団や社会の様々な規範を身に付けていくことである。そのために、約束や法、きまりを進んで守るようにすることが必要である。
- ・社会の法やきまりのもつ意義について考えることを通して、法やきまりが個人や集団が安全にかつ安心して生活できるようにするためであると理解することが大切である。
- ・2年生の発達段階においては、まだ、自己中心性が強く、とすると周囲への配慮を欠いて自分勝手な行動をとることが少なくない。また、身の回りの公共物や公共の場所の使い方や過ごし方についてどうするのがよいのか、そして、それは、なぜなのかといった理解は、十分とは言えない。
- ・指導に当たっては、身近なきまりを取り上げ、それは、みんなが気持ちよく安心して過ごすためであることを理解させ、しっかり守ろうとする意欲や心情を育てていきたい。

■内容項目から見た児童の実態

(意識)

- ・約束やきまりについては、守らなくてはいけないという意識はどの児童にもある。
- ・しかし、楽しかったり、他の仲間も守っていなかったり、教師がいなかったりすると守れなかったり、仲間に注意されてもすぐに直せなかったりすることが多い。
- ・気が付いて、守ろうとする児童もいるが、周りの仲間に教えるなど働きかけることのできる児童は少ない。

(要因)

- ・規則は守らなくてはいけないということが分かっているにもかかわらず、自分のやりたいことを優先してしまう自己中心的な気持ちがある。
- ・仲間もやっているから、少しくらいなら、自分くらいいだろうなどという甘い気持ちがある。
- ・教師にしかられなければよいという気持ちがある。
- ・注意しても、聞いてくれないという諦めがある。
- ・きまりを守らないと、「他者が迷惑する」という意識やきまりを守ることは「みんなが気持ちよく生活するため」に欠かせないことであることというしっかりとした認識がない。きまりがある意味をしっかりと考えさせていきたい。

■資料の分析

- ・くろぶたは、めんどくさいため、「ごみはごみ捨て場に捨てる」というきまりを無視して、所かまわずごみをすてようとする。その姿に周りの動物は異議を唱える。きまりを守らないとどうなるかを考えさせることのできる教材である。
- ・誰もいないから、川や広い牧場なら分かるまいなどいろいろ理由をつけて正当化するぶたの行動の根底は、誰にもある心の弱さであり「ぼく一人ぐらいいいでしょう。」という自分勝手に安易な気持ちであることを押さえ、そのために、さる魚、馬などの迷惑を被る人がいることを理解させたい。
- ・自分一人ぐらいとみんながきまりを破れば町中ごみだらけになり、最後は自分自身もごみの中で生活をしなければならなくなる。
- ・きまりは、みんなが気持ちよく生活を送るために大切であり、進んで守ろうという意欲をもたせたい。

■ねらい

くろぶたの行動を通して、きまりを守らないと、周りに迷惑をかけることに気づき、自分や仲間のためにきまりを守って気持ちのよい生活をしていこうとする心情を育てる。

■他の教育活動との関連

事前

- 委員会のキャンペーン
・西小ピカピカ大作戦
パート
1
・時間キャンペーン

本時

『くろぶたのしっぱい』
C 規則の尊重

事後

- 学級活動
「雨の日の過ごし方について考えよう。」
・雨の日の室内での過ごし方について考えることができる。

日常生活：自分や仲間のことを考えて約束を守ることができる。

2. 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>◇学校には、こんなきまりがありますね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下やワークスペースは、歩く。 ・集合のときは、黙って素早く並ぶ。 ・使ったものは、きちんと元に戻す。(本・箸) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級で守れていないきまりを挙げる。 ・きまりが守れなかったことやその理由をアンケートに取って実態をつかんでおく。
展開前段	<p>◇くろぶたさんの動物村には、「ごみは、ごみ捨て場に捨てる」というきまりがあります。それは、くろぶたさんもよく知っています。くろぶたさんはどんな失敗をしたのでしょうか。考えながら聞きましょう。と前置きをし、資料「くろぶたの しっばい」を範読する。</p> <p>○なぜ、くろぶたさんは「ごみは、ごみ捨て場に捨てる」というきまりがあるのに守らず、あちこちに捨てようとしたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めんどくさいから。 ・だれもないから ・分からなければいい。 ・自分一人くらいならいいか。 <p>○くろぶたさんのようにきまりを守らずにごみを捨てていたらどんなことが起こるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さる…<u>家の近く</u>に捨てられたら…臭くて困る。 ・魚…<u>川</u>に捨てられたら…水が汚れて、住めなくなる。 ・馬…<u>自分一人くらい</u>とみんなが捨てたら…町中ごみだらけになる。 <p>→みんなが困る。</p> <p>◎くろぶたさんにどんなことを教えてあげたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きまりは守らないといけないよ。みんなが困るから。 ・人が見ていなくても、きまりを守るよ。 ・川や山や野原は、みんなのものだよ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>深めの発問 きまりを守ると、どんないいことがあるのかな。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・きまりを守ると、みんなが気持ちよく生活できるよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を出さず、電子黒板で紙芝居のようにして話をする。 <p>(くろぶたの心の弱さ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だれもないから ・わからないから ・目立たないから。 ・自分一人くらいならいいか。等に気付かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・くろぶたの自分勝手な行為が周りの人にとっても迷惑になることを役割演技を通して一人一人が考えられようにする。 <p>教師…くろぶた 他の困っている動物…児童全員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が自分の考えをもつために「きまりを守るとどんないいことがあるのか」を、ペアで交流する。
展開後段	<p>○こんな場面を見付けました。みなさんは、どう思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室や廊下、ワークで走ってしまった人の人数。(棒グラフ) →こんなにいるんだ。ぶつかる危険から歩きたい。 ・体育へ移動するための集合の号令がかかっても、並べず広がっている写真。 →係が困る。体育の時間が減る。黙ってさっと並びたい。 ・乱雑になっている本箱や給食の箸入れの写真 →次の人が読みにくい。給食センターの人が困る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入で出したきまりの実際の生活の場面を写真や資料で示し、ふり返る。 ・身近なきまりを守らないと、困ることや守るとよいことを考えることで「きまりを守って生活しよう」という意欲をもてるようにする。
終末	<p>◇きちんと右側歩行をしている姿、黙って並び整列している分団下校の姿、きちんと並べられた本棚と給食の箸入れの写真を掲示し、思ったことを発表させ、きまりを守るよさを実感させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・きまりを守った写真を提示することできまりを守るよさやきまりの存在意味を考えさせる。

☆テストではありません。

名前

「ろうかやワークスペース、きょうしつは、あるく。」というきまりを知っているのに、はしってしまったことがある。

ある。() ない。()

☆あるとこたえた人にしつもんします。なぜ、はしったのですか。

あてはまるものに○をつけましょう。(いくつでもかまいません。) また、いちばんあてはまるものに◎をつけましょう。

- () なかまとあそぶのがたのしくて、やめられなかった。
- () だれもいなかったから (わからなければいい)
- () 先生がいなかったので (おこられなければいい)
- () すこしくらいならいい。
- () なかまもはしっているから。
- () じぶんひとりくらい いいか とおもった。

そのほか
